

2021年度 国際開発入門コース 研修スケジュール

日時※		テーマ	講師
1	10/8 (金) 19:00-21:00	国際開発協力の歴史、 日本政府・主要ドナーの開発 援助と国際相互依存関係	<u>大野 泉 氏</u> （政策研究大学院大学/GRIPS 教授） 国際協力事業団（現在のJICA）、世界銀行、国際協力銀行（JBIC）等を経て、2002年よりGRIPS教授。2018年10月～20年9月までJICA緒方貞子平和開発研究所長を務める。専門は国際開発政策、日本の開発協力、産業開発協力。過去に外務省「ODA大綱の見直しに関する有識者懇談会」委員、経済産業省「BOPビジネス支援センター」運営協議会座長等歴任。著書に『町工場からアジアのグローバル企業へ：中小企業の海外進出戦略と支援策』（編著、中央経済社、2015年）等。
2	10/16 (土) 14:00-16:00	アフリカからグローバルイシューを 考える	<u>佐藤 章 氏</u> （アジア経済研究所地域研究センター 主任調査研究員） 1993年にアジア経済研究所に入所以降、一貫してアフリカ研究に取り組む。フランス語圏西アフリカを中心とした政治史が専門。主著にコートジボワールの通史、『ココア共和国の近代：コートジボワールの結社史と統一的革命』（2015年）。近刊に、地域研究への入門的な教科書、『地域研究へのアプローチ：グローバル・サウスから読み解く世界情勢』（共編、ミネルヴァ書房、2021年）。
3	10/22 (金) 19:00-21:00	JICAによる国際協力、 民間連携の取り組み	<u>上野 嘉行 氏</u> （国際協力機構/JICA 民間連携事業部 計画・連携企画課 企画役） 2001年に日本通運に入社、物流業に従事。2007年転職によりJICA入構。入構後は市民参加協力事業や運輸交通分野の技術協力、調査等を担当した後、2013年～2017年までフィリピンに駐在。フィリピンでは農業分野の事業担当として、技術協力、資金協力、民間連携事業等を担当。帰国後、財務部を経て、現在はJICA民間連携事業部で関係機関連携など、SDGsビジネス支援事業の推進業務を担当。
4	11/6 (土) 14:00-16:00	感染症と開発 ～新しい感染症の時代をどう生 きるか考える～	<u>山本 太郎 氏</u> （長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野主任、教授） 東京大学大学院医学研究科博士課程国際保健学専攻修了、長崎大学熱帯医学研究所・助手、JICAジンバブエ国保健省チーフアドバイザー、ハーバード大学特別研究員、コーネル大学医学部客員准教授、外務省国際協力局課長補佐等を経て、2007年より現職。近著に『疫病と人類 新しい感染症の時代をどう生きるか』（2020年）、『抗生物質と人類－マイクロバイオームの危機』（2017年）等。
★	16:30-17:30	懇親会 (Zoomミーティングにて開 催) ※懇親会の参加は任意です。	講師の参加はありません。FASID事務局が運営いたします。 ※全コース受講者のみを対象としています。
5	11/19 (金) 19:00-21:00	農村開発と地域おこし	<u>矢島 亮一 氏</u> （特定非営利活動法人自然塾寺子屋 理事長） 2001年、群馬県甘楽郡甘楽町に自然塾寺子屋を設立し同年より現職。国際協力の経験を地域振興に活かし、国際協力事業と連携した地域活動の研究を行い、2008年に宇都宮大学国際学研究所修士課程修了。NGO活動を通して、地域振興に従事する傍ら、農村部の変化と生命をつなぐ「食」や「農」の大切さを提唱する。総務省「平成28年度ふるさとづくり大賞」総務大臣賞、独立行政法人 国際協力機構「JICA理事長賞」など受賞多数。近著に「国境をこえた地域づくり」（共著、2012年）他。
6	12/3 (金) 19:00-21:00	UNシステム及び 国連機関による平和政策	<u>西野 桂子 氏</u> （関西学院大学 総合政策学部・大学院総合政策研究科 教授） 国連児童基金（UNICEF）のバングラデシュ駐在事務所、ニューヨーク本部での勤務を経て、開発コンサルタント会社グローバル・リンク・マネジメント株式会社を設立、ODA事業の調査、評価等に従事。2013年より現職。近著に『グローバルキャリアのすすめ プロフェッショナル講義』（共著、関西学院大学総合政策学部、2018年）等。

※全ての回の時間内に小休憩（10分）を含む。

＜一部変更になる可能性があります。＞